

# 古着伝言板



FRN

2019年2月28日 発行

〒232-0017

横浜市南区宿町 2-40 大和ビル 101

Tel. 045-710-6507 Fax. 045-710-6508

ホームページ：<http://www.fiber.jp>

発行：ファイバーリサイクルネットワーク

## 服部孝子さんを偲ぶ集い



2018年も、春・夏・秋とリサイクルきものフェアを開催、その準備に伴うボランティア作業日、講習会、地域から依頼を頂いた行事に協力といつもと変わらないFRNの一年になると思っていましたが、ファイバーリサイクルネットワークを立ち上げた服部孝子さんが亡くなられ、忘れることが出来ない2018年となりました。

\*10月27日(土) 横浜開港記念会館にて



しみりしがちな偲ぶ集いも、戸川さんのジョークのお陰で大笑いの集合写真となりました。

お話いただいたお一人お一人が、様々なエピソードを当時の服部さんを思い出している様子で話されているよう皆さんが偲ぶ集いで皆さんにお会いして服部さんも懐かしかったのではありません  
あら！あの人あんな事言って、あら！あんな風になっちゃって！と思われた方も・・・(笑)  
でも皆さん服部さんのお写真に会えてほっとされていた様に感じました。またご都合悪く出席できなかった方からも沢山の献花の申し出を頂き、服部さんのお写真がお花に埋もれてしまうくらいで服部さんも驚いたと思います。開港記念会館の方も会場を覗かれて、沢山の献花に囲まれた凄いですね！と驚いていました。そして何よりもご出席頂いた方々が服部さんのお話をされている時漸くちゃんとお会いできてお別れが出来た様。服部さんが亡くなられて寂しいのですが、この偲ぶ集いで私自身も改めて感謝の気持ちと共にお別れできた偲ぶ集いとなりました。

服部さんは良く活動は楽しくなければ続かない！と話されていました。勿論、楽しい事ばかりではありませんし、活動が長くなればなる程続けて行く難しさも出てきます。そして設立した「当初」とは活動も変化してきています。それでも私たちの三つの目的は変わる事無く活動を続けています。

「布の再活用、再資源化、FRN基金」FRNの活動にワクワクした気持ちがまだまだあります。前号で中野会長がFRNの設立総会と同じ6月にお亡くなりになられたことは、ファイバーリサイクルに対する強い思いを伝えるメッセージかもしれません、とありました。

今やファイバーリサイクルという言葉は、全国どこでも「古着・古布の回収運動」を表す共通語として使われるようになりました。服部孝子さんが彼女の安らかな眠りをお祈りするとともに、FRNの活動がこれからもより多くの方々の共感を得て、多くの人々の愛する運動として続いていくことを願ってやみません。

服部さんありがとうございました。

## 2018年 FRN基金

本年度のFRN基金は、私たちの団体が活動している地区や地元、また推薦があった団体がより元気になり、活動の広がりを持ってもらうための支援をしようと話し合い、少額ではありますが地区連と地域作業所二ヶ所、推薦を受けた一カ所に支援をする事にしました。

- ① 足柄地区連絡会「紋蔵」の一部茅葺き替え支援として。
- ② 就労継続支援B型事業所「ゆめが丘DC」旭地区連絡会からの推薦。＜推薦理由＞・現代の社会的な問題である「メンタルヘルス」の啓発活動をしている事。FRN活動のガールズを受け入れに共通するものがある事・スタッフ5名の意識が高くきめ細やかな作業が行われている事・製作品が「資源の再利用」の循環型社会を提案しFRNの活動に共通している事・材料の提供が行政を始め、多様な産地、会社などに広がりがある事。  
・3障害（知的、身体、精神）の対応、自立援助ホームなど、社会的に重要な分野の活動であり、多くの支援と理解が必要である事。・今後の新たな製品開発は、通所者のアイデアが生かされる事が期待出来る事。
- ③ 社会福祉法人たすけあいゆい「えくぼ」着物のほどき、値札作り、きものフェア搬入日に倉庫からの荷物の搬出、地域にチラシ配りをお願いしています。
- ④ 特定非営利活動法人地域支援センター「あいの木きょうしん」着物のほどき、洗い、アイロン掛け等を依頼している。南区で開催の「夏のリサイクルきものフェア」にセンターの作品販売で出店してもらっています



## “田舎モダン開成町”の古民家「瀬戸屋敷」で＜秋の市＞

瀬戸屋敷秋の市は毎年11/3文化の日に行われている行事です。今年はお洒落なカカシで瀬戸屋敷を飾りたい！から始まり、ファッションショーをFRN足柄地区連絡会で発表する事になりました。瀬戸屋敷のサイトにも、FRNの活動や、協力いただいた、きものdeどれすを詳しい紹介いただけただけなので、地域の皆様にあらためて古民家ガーデン紋蔵で活動するFRNの活動の主旨と具体的な提案を示すことが出来て有意義なプロモーションになりました。衣類の回収、着物の活用をきっかけにした循環型の社会の構築をこの風光明媚な日本らしい、どこか懐かしい茅葺き屋根が残るエリアで今後も楽しく継続して行けたら幸いです。今回572人の来場者がありました。FRN足柄地区連絡会が協力したのは二回目、ファッションショーは初の試みです。

周辺は県内有数の田園地帯で昭和天皇の時代は皇室献上米の田圃もあった水の綺麗なエリアです。当日は築300年の茅葺古民家「瀬戸屋敷」の母屋で展示販売。また母屋から前庭にはランウェイがつくれ、お客様はゆっくり座り秋深まるガーデンファッションショーを観覧できました。

リメイク品でトータルコーディネートした6体のカカシを、ダンススクールの子も達が持ちランウェイを歩きました。また着物のリメイク品を紹介、音楽に合わせてMCしたりと斬新な構成を狙いました。本部と足柄地区の普段からリメイクファッション着こなしているメンバーがトータルコーディネートして歩いたり、メンバーの高校生の娘さん達三人が初モデル体験で大変身、着物リメイクファッションを着こなし美容師、メイクアップアーティストの協力を得て拍手をもらっていました。きものdeどれす活動をするチームは公開ヘアセットをキメたあと、FRNの振り袖などをモデル協力いただいたアーティストさんが見事に着物の新しい魅せ方を表現したりと、盛り沢山な内容で好評な反応を客席からもらうことができました。今回地域紙

のタウンニュースの取材も受けて、紙面やネットサイトに紹介されました。



＊ ＊ 2018 年後期活動報告 ＊ ＊

春と秋に開催してきた「リサイクルきものフェア」が、第40回（20年）になりました。

2018年10月23日（火）かながわ県民センター  
入場者520名



＊第1回「リメイクフェア」11月26・27・28・29の四日間開催大和ビル二階会議室  
FRNのメンバーやきものフェアに来場いただくリメイク大好きの方々が出店してくれました。  
＊出店者は売り上げの3割27,540円をFRN基金に組み入れていただきました。



初めてナカノ（株）中野会長も参加！！

＊＊＊＊ 2019年 「リサイクルきものフェア」予定 ＊＊＊＊

- ＊「春のリサイクルきものフェア」第41回 4月23日（火） かながわ県民センター
- ＊「夏のリサイクルきものフェア」第14回 7月2日（火） フォーラム南太田
- ＊「秋のリサイクルきものフェア」第42回 10月30日（水） かながわ県民センター

ファイバーリサイクルネットワーク(略称FRN)は、NPO法人格は取っていませんがNPO団体です。

\*交流会・・・日頃FRN活動を支えてくれる皆様と、  
お疲れさま会の会食をしました。

12月20日（木）13：00～和食懐石「桂川」